

Press Release

報道関係者各位



〒107-6011 東京都港区赤坂1-12-32-11F
TEL: 03-5545-3303 FAX: 03-5545-3305
ホームページ <http://www.ssf.or.jp>

高校の部活動における暴力行為は漸減

笹川スポーツ財団「部活・サークル活動に関する調査」

- ◆ 運動部系・文化部系の別なく調査(全国の16～19歳の男女が直接回答)
- ◆ 「指導者」および「先輩」の暴力行為(身体的暴力および暴言)について実態把握
- ◆ 指導者から暴力行為を受けたことのある回答者の「7割」が「部活動に満足」

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する公益財団法人笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：小野清子）は、2013年7月に全国の16～19歳（高校2年生から大学1年生）を対象とした『部活・サークル活動に関する調査』を行いました。

調査の結果、過去1年間に高校（高専を含む）の部活動において指導者や先輩から暴力行為（身体的暴力および暴言）を受けたことがある者は14.3%でした。その発生時期を尋ねたところ、昨年7～9月の72.1%から、本年4～6月では18.4%まで漸減していることがわかりました。一方、今年7月の1ヵ月間でも指導者から暴力行為を受けた者は11.7%にのびりました。

8月9日に文部科学省が発表した「体罰の実態把握について（第2次報告）」においても、高等学校（国公立）における体罰時の状況としては、「部活動」が41.7%と最も多いことがわかっており、今回の調査結果も踏まえ、指導者、上級生による指導の現状については、運動部系・文化部系の別なくその実態を正確に把握する努力が求められているといえます。

本調査の特徴

- 1) 高校2年生から大学1年生までの本人による直接回答（指導者・保護者等による回答ではない）
- 2) 「運動部系」に限らず「文化部系」も含めた高校の部活動を対象
- 3) 暴力行為の「目撃体験」についても調査
- 4) 「指導者」からの暴力行為（身体的暴力および暴言）だけではなく、「先輩」からの暴力行為も調査

本調査結果の主なポイント

- 1) 過去1年間に指導者から暴力行為を受けた割合は14.3%。その発生時期は昨年7～9月の72.1%から今年4～6月では18.4%まで漸減
- 2) 直近（今年7月）の1ヵ月でも11.7%が指導者から暴力行為を受けたと回答
- 3) 指導者からの身体的暴力と暴言の両方を受けた者のうち、半数は同じ状況を目撃
- 4) 指導者から暴力行為を受けたことのある回答者の7割が「部活動に満足」と回答

調査の概要とポイントに照らしたデータについては、次ページ以降をご参照ください。

この件に関するお問合せ先

笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所: 武長・藤原・工藤
TEL: 03-5545-3303 data@ssf.or.jp

【主な調査結果】

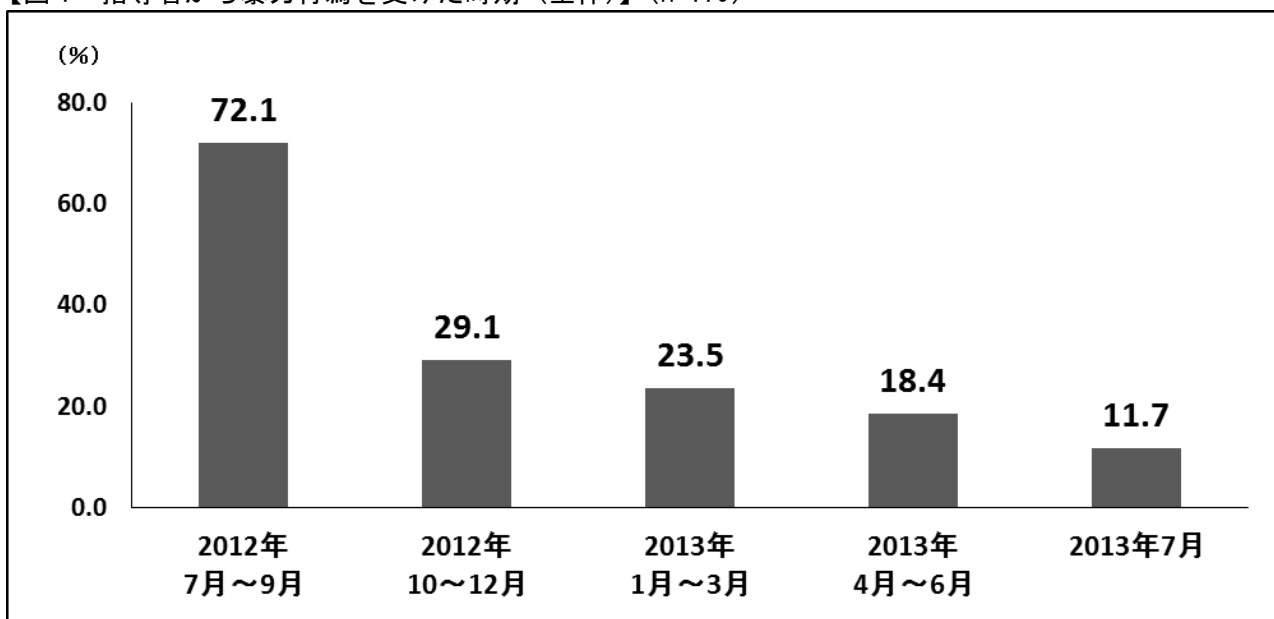
1. 指導者から暴力行為を受けた時期

1) 指導者から受けた時期は、昨年7～9月の3ヵ月間の72.1%から、今年4～6月の18.4%まで漸減

2) 直近(今年7月)の1ヵ月では11.7%が指導者から暴力行為を受けたと回答

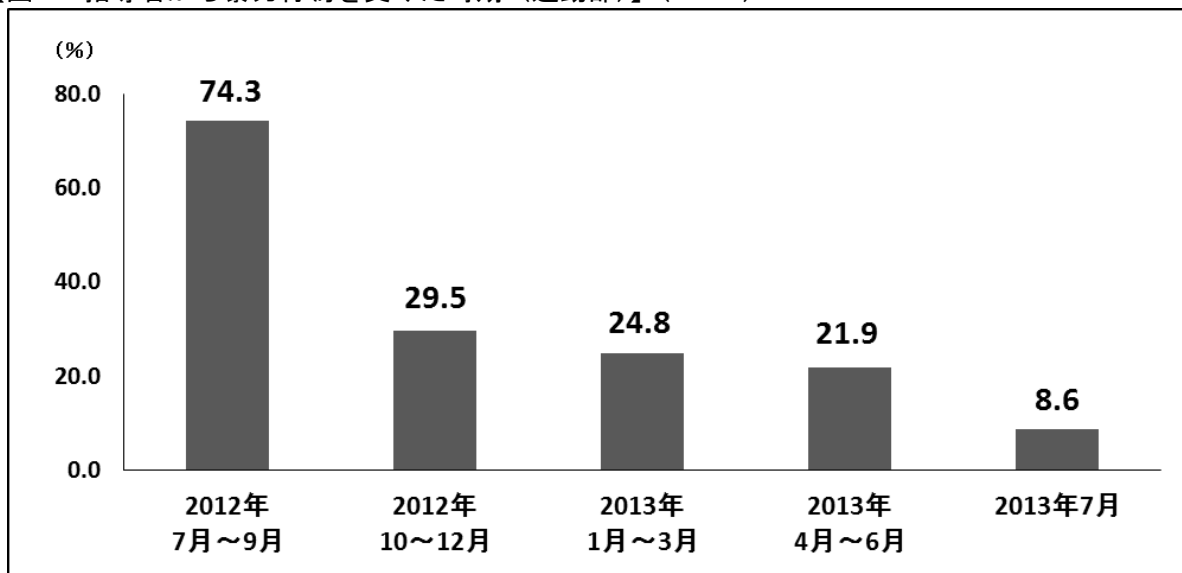
過去1年間に指導者から暴力行為を受けたと回答した者(14.3% 内、運動部 8.4% 文化部 5.9%)に対し、受けた時期を尋ねた。「2012年7月～9月」が最も多く72.1%であったが、「2013年4月～6月」では18.4%と、暴力行為を受けた割合は昨年から今年にかけて減少傾向にある。しかし、本調査を実施した今年の7月をみると11.7%が暴力行為を受けたと回答している。過去1年間に暴力行為を受けたと回答した者のうち、およそ1割の高校生が部活動において、今年の7月時点でいまだに指導者からの暴力行為を経験している状況には注目すべきである。

【図1 指導者から暴力行為を受けた時期(全体)】(n=179)



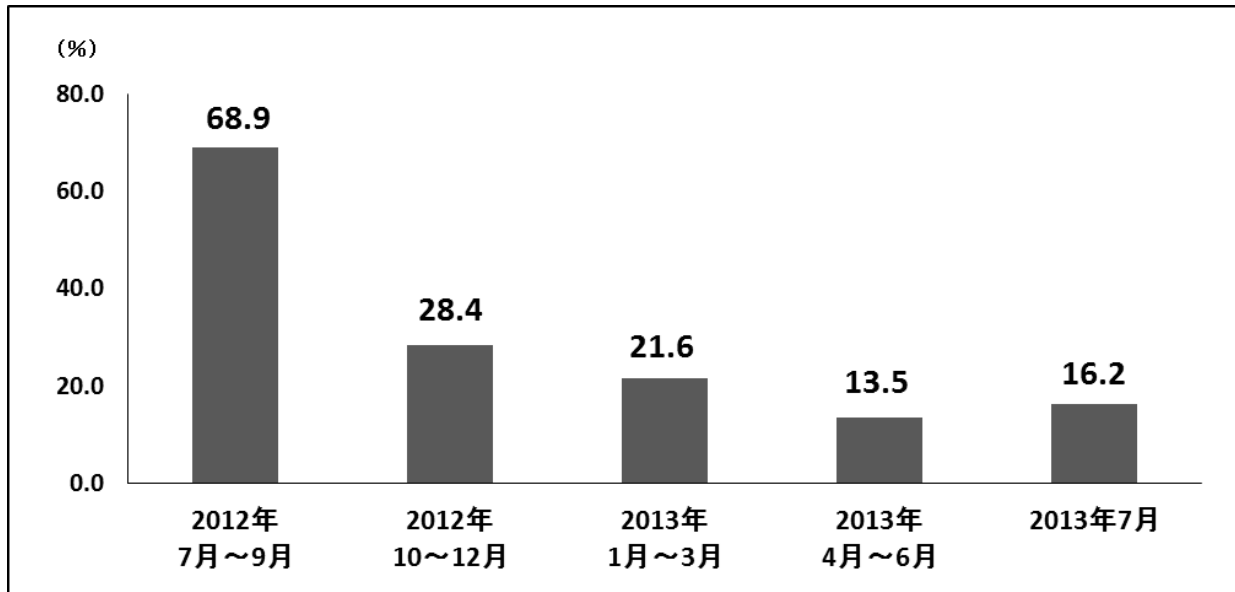
1-1. 指導者から暴力行為を受けた時期(運動部・文化部別)

【図2 指導者から暴力行為を受けた時期(運動部)】(n=105)



注) 暴力行為: 「素手で殴られる」「物(棒や竹刀、スリッパ、ペットボトルなど)で殴られる」「蹴られる」「物を投げつけられる」「暴言を言われる」のいずれかの行為。

【図3 指導者から暴力行為を受けた時期（文化部）】(n=74)



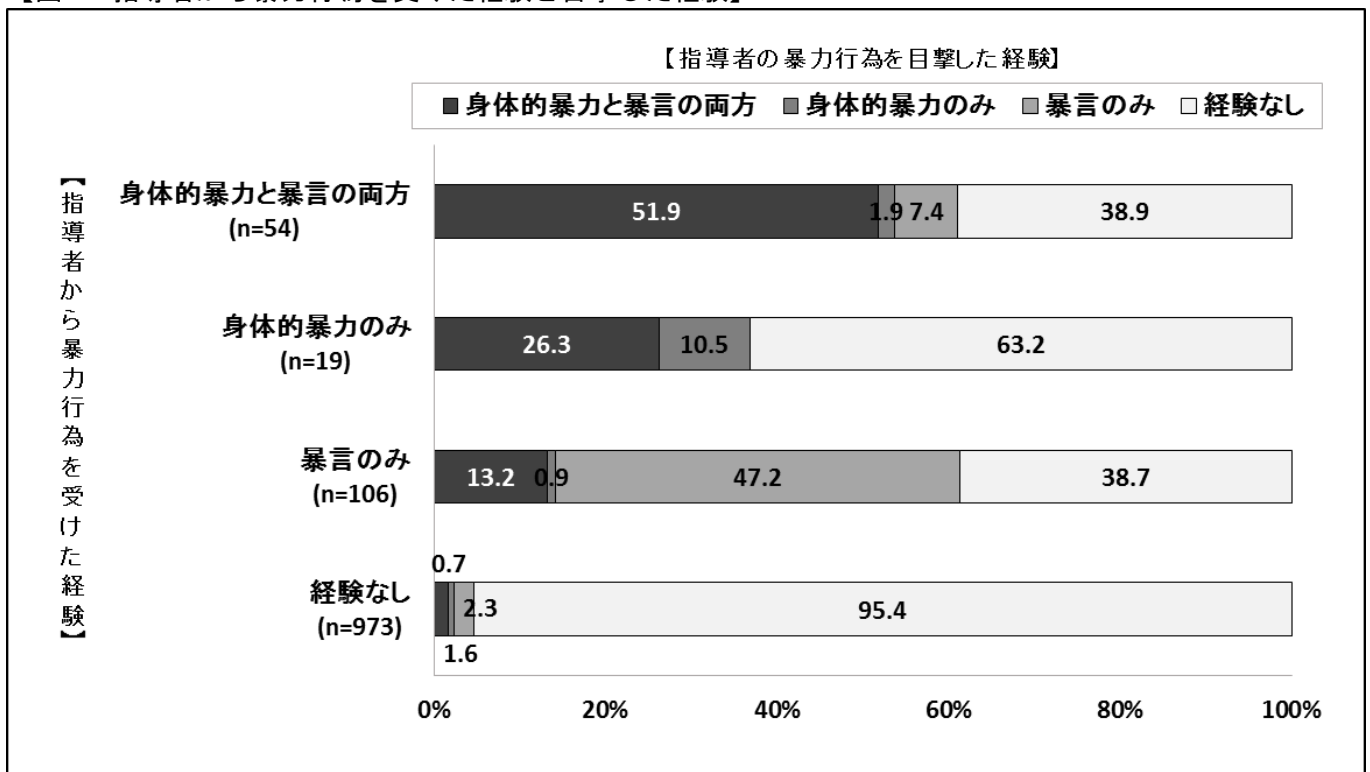
注) 暴力行為：「素手で殴られる」「物（棒や竹刀、スリッパ、ペットボトルなど）で殴られる」「蹴られる」「物を投げつけられる」「暴言を言われる」のいずれかの行為。

2. 指導者から暴力行為を受けた経験と目撃した経験

3) 指導者からの身体的暴力と暴言の両方を受けた者のうち、およそ半数は同じ状況を目撃

指導者から「身体的暴力と暴言の両方」を受けたと回答した者のうち、51.9%が部員が受けている状況を目撃していた。また、指導者からの暴力行為を受けた経験がないと回答した者でも、およそ5%は指導者の暴力行為を目撃している。

【図4 指導者から暴力行為を受けた経験と目撃した経験】



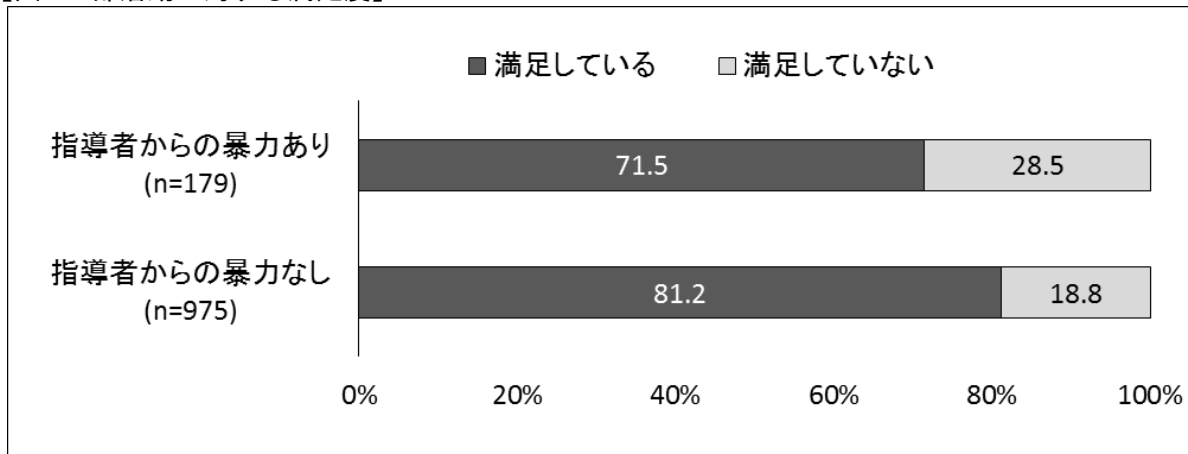
注) 身体的暴力：「素手で殴られる」「物（棒や竹刀、スリッパ、ペットボトルなど）で殴られる」「蹴られる」「物を投げつけられる」の4つの行為。

3. 部活動に対する満足度

4) 指導者から暴力行為を受けたことのある回答者の7割が「部活動に満足」と回答

指導者から暴力行為（身体的暴力および暴言）を受けた経験の有無別に、部活動の満足度をみたところ、暴力行為を受けた経験のある者でも71.5%は「満足している」と回答した。

【図5 部活動に対する満足度】

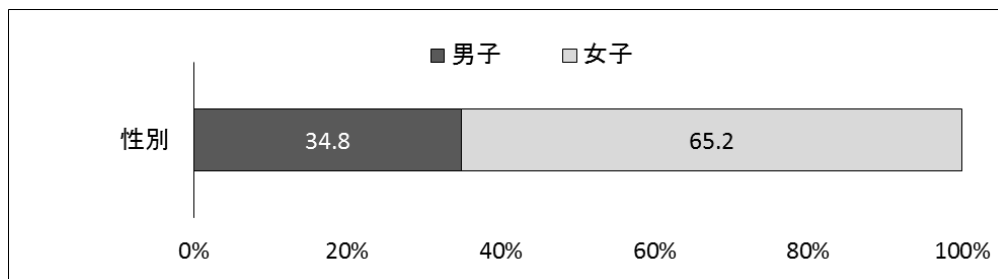


【調査概要】

- 調査名 部活・サークル活動に関する調査
- 調査時期 2013年7月25日～7月29日
- 調査対象
 - 1) 母集団： 全国の16～19歳（高校2年生～大学1年生）の男女
 - 2) サンプル数： 1,252人
- 調査方法 インターネット調査
- 調査内容 過去1年間に、部活動中に指導者および先輩から、以下の暴力行為を受けた経験、目撃した経験があるかを尋ねた。
 - ①素手で殴られる、
 - ②物（棒や竹刀、スリッパ、ペットボトルなど）で殴られる
 - ③蹴られる
 - ④物を投げつけられる
 - ⑤暴言を言われる

■ サンプルについて

(1) 性別 (n=1,252)



(2) 運動部と文化部の割合 (n=1,252)

